



琉球大学学術リポジトリ

University of the Ryukyus Repository

Title	資料等(平成26年度大学教育センターFD・SD一覧)
Author(s)	-
Citation	琉球大学大学教育センター報 = University Education Center Bulletin(18): 113-142
Issue Date	2015-10
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/41211
Rights	

平成 26 年度 大学教育センターFD・SD一覧

プログラム名	対象者	開催日時	参加者数	概要
① 講演会「大学における学習成果の評価を理解するーパフォーマンス評価とルーブリックを中心にー」	本学教職員	10月17日(金) 10:00~12:00	19名	今回の講演会は、錯綜しがちな学習成果の評価にかかわる概念と手法、とりわけパフォーマンス評価とルーブリックについて本学アセスメント・ポリシーの策定に際し我々が共通の理解を得ておくことを目的として開催した。 講師：松下 佳代氏(京都大学 高等教育研究開発推進センター 教授)
② 学務担当者連絡会	各学部学務担当者、教務課・学生課・総務課職員	①5月22日(水) ②7月31日(木) ③9月19日(金) ④11月13日(木) ⑤3月23日(月) ※①②③10:00~ ④13:30~ ⑤15:00~	20名 (各回で変動有り)	各部局における学務に関わる職員の間での認識を共有するべく、連絡調整や情報交換を定期的に行った。
③ 全学学士教育プログラム委員会	学士教育プログラム代表者(委員)、教育・学生支援担当理事、学生部長、教務課長、教務課長代理、URGCC推進支援室スタッフほか	定例開催による毎月第一水曜 14:40~16:10(全9回開催) ※4月は日程変更有り ※5月、9月、12月は不開催	40名 (各回で変動有り)	全9回の委員会(及び全5回のWG)を開催し、アセスメント・ポリシーの在り方について検討を行い、主として以下の2つを作成した。 1. 各プログラムを通じた学生の学習成果を把握する方法として、全学的に統一された基準による「評価基準表(ルーブリック)」を作成した。 2. URGCC及び学士教育プログラムについて説明する小冊子『URGCC 琉球大学 学士教育プログラム(平成27年度版)』を作成した。
④ URGCC及び共通教育等科目のシラバス・授業評価に関する説明会	本学教員(主として非常勤講師を対象)	①6月5日(木) ②6月12日(木) ③6月13日(金) ④10月3日(金)	①21名 ②17名 ③15名 ④4名 計57名	本学では、平成24年度よりURGCCを導入し、全学的に学士課程教育の充実を目指した取組を開始している。 については、URGCCの趣旨や重要性を改めて、広く共有し、その具体的な方策としてのシラバス作成や授業評価についての説明会を開催した。